



インスピレーションになるう

Rotary



国際ロータリー第2610地区

南砺ロータリークラブ

クラブ会報

なんと

NO. 2411

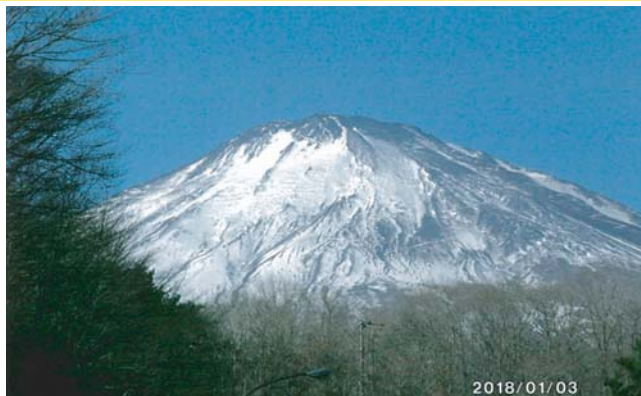
URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp



例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ぶくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影 写真同好会 荒井進会員



富士山

御殿場より

2018/01/03

第2471回例会 平成30年8月28日(火)晴れ間あり

◆点 鐘 12:30 岩木貴之会長

◆司 会 森 悦夫SAA

◆会長の時間 岩木貴之会長

みなさんこんにちは

本日は、インドネシアのジャカルタ

で熱戦が繰り広げられております、「アジア大会」についてお話をしたいと思います。このアジア大会は略称で正式には、**アジア競技大会**と呼ぶのだそうです。アジア選手権、アジアカップは単一競技の大会で、これは総合競技大会です。

基本的にオリンピックと同じ競技が行われますが、軟式テニスや囲碁、シャンチー(中国将棋)、カバディ、セパタクローなど、アジアの地域性を反映した競技も多数行われております。その歴史を紐解きますと、

1913年~1934年 日本、フィリピン、中国の3ヶ国による極東選手権競技大会、そして1934年にインドで開催された西アジア競技大会が源流とされており

1949年 第2次世界大戦終了後、アジア競技連盟(AGF)が設立

1950年 第1回大会が開催予定でしたが、施設の整備、用具の調達に間に合わず

1951年(S26) インドのニューデリーで開催(参加国は11ヶ国、競技数は6、参加選手数は489人)

その後、オリンピックの中間年に4年に1度開催されております。

1958年(S33) 第3回大会が東京で開催され、ちょうどオリンピック誘致の最中であつた東京でも、国際大会が開催できるという大きなPRとなり、

1964年の東京オリンピック開催に繋がつたと言われております。

1986年(S61) 第1回冬季大会がJOC(日本オリンピック委員会)の提唱で札幌で開催されております。

1994年(H6) 第12回大会が日本開催2回目となる広島で開催され(参加国42ヶ国、競技数は34、参加選手は6,828人)

2018年 18回大会がインドネシアのジャカルタで開催されております。が、実はこの第18回大会は、2019年ベトナムのハノイで予定されていましたが、ベトナムは財政難から大会開催権を辞退し、今回に至ったわけですが、ちなみに参加国・地域は46、競技数は41(465種目)、参加選手は公式発表はまだありませんが、10,000人以上と思われま

今後の開催予定としまして、

2022年第19回大会は、中国の杭州

2026年第20回大会は、日本の愛知県・名古屋市の共催の予定。

アジア大会メダル獲得数 9/2

国・地域	金	銀	銅	計
1 中国	132	92	65	289
2 日本	75	56	74	205
3 韓国	49	58	70	177
4 インドネシア	31	24	43	98
5 台湾	21	24	25	70

◆新会員の紹介



★川 南 護 (かわみなみ ゆずる)君

職業分類: 銀行業

株富山銀行 参与 南砺エリア統括支店長

エリア: 福光・福光中央・井波・城端各支店

福光支店住所: 南砺市荒木5462 TEL52-6117

自宅住所: 射水市戸破2708-1

生年月日: 昭33年4月2日 (60才)

◆幹事報告

久恵龍三幹事

- ①G事務所より「職業奉仕委員会よりロータリー歴史探訪冊子について」のお知らせ。専用のパスワードで引き出して下さい
- ②高岡北RCより「次期ガバナー補佐選出について」のお願い
次期G補佐は当クラブが選出する当番とのこと
- ③高岡北、砺波、氷見中央、新湊中央RCより例会変更の案内
- ④木勢会員が南砺市民病院に転院されました
- ⑤地区大会(10/28)出席者確認の用紙を回しています
- ⑥ポロシャツの色を明るい色にと要望がありました。幹事に一任してください(鮮やかなブルーでどうか?)

★ニッコニコボックス

8/28 榊 祐人委員長

- 岩木君 雨が降って暑さも一息です。
- 荒井君 松村大先生に改めて敬意を表します。
- 森 悦君 松村さんの卓話が楽しみです。よろしく!
先日の富山銀行の文化講演の講師の言葉で、PPKで過すには、ラジオ体操をしっかりする事ですと言われました。ちなみに、PPKとはピンピンコロリです。
- 尾山君 松村会員、卓話よろしくお願ひ致します。
- 中田裕君 松村さんのお話し楽しみです。
- 湯浅君 人生70才からスタート。毎日多忙なスケジュールをクリアしています。ありがとう。合掌
- 岡部君 久しぶりの例会出席になりました。駐車場の周辺も工事車が沢山止まっているし、例会の席替えもあり、何か不思議な感じです。ロータリーでは、例会欠席中色々な出来事があります。又の機会です!!
- 大西君 今日40数年ぶりの席替え!たまにはいいもんですネ。数日前三葉松(サンヨウマツ)の事が新聞に載っていましたネ。本日の卓話楽しみです。
- 片山浩君 席が替わって楽しいですね。
- 石崎和君 夏バテです。ボールペンも持ってません。
- 井沢君 夏バテに“カツ!!”
- 山田喜君 稲刈りがはじまりましたネ。今年の出来栄が気になりマス。なかなか帰らなかつた3番目が、昨日新幹線で戻って行きました。ヤレヤレ、ホッとしています。(母心)
- 榊 君 酷暑に見舞われた今年の夏、秋も残暑が続くようです。先日の台風でコシヒカリの稲が少し傾きました。あと10日ががんばって倒れないで欲しいなあ。
- 松本君 早退します。

本日のプログラム 9月4日(火) 第2472回

IA情報

担当 大西正芳IA委員長

◆出席報告

吉田 実委員長

会員数	8月28日出席率	8月15日の修正
48 (免除1)	68.09% (欠15)	80.85% (欠9メーク0)

メーキャップ: 岡部一輝君



祖父である政治家松村謙三が亡くなって47年、今もなお多くの方々にその風格が親しまれ、政治姿勢が共感を持って振り返られていることは家族にとっても幸せなありがたいことである

松村謙三が頼まれた書いたものはおびたしい。

記念碑などのほかに当時の支持者などのお宅の玄関、座敷や壁間にあるいは学校、公民館などに見かけられる。また色紙や手ぬぐいになったものや祭礼のときにしか出されない大きなのぼりもある。本人は字が上手なだけでなく当意即妙な字句を書いてあげたので人気があった。

*

祖父は明治の人らしく若い時から書の手本で勉強して学生時代にすでに一はしの達筆だった。

書の風格もだんだん変わって来て作品をみれば大体年代を当てることができる。



揮毫の現場としては昭和23年に建てられ約15年間住んでいた中野区鷺宮の八畳一間の「五松庵」が多い。公職追放中はこの雑木林の中の家で王羲之など中国の書家の字を臨書したり、小杉の片口江東翁について漢詩を作ったり蘭をはじめ好きな畑いじりや椎茸作りを楽しんだ。

「この追放のおかげで、私は生涯又とあるまいと思うほどの悠暢かつ快適な生活の日々に心からひたることができた」(三代回顧録)

ここには依頼された揮毫の紙がいつも山積みになっていた。頼んだ方が紙をのべ、墨をする。

墨汁などは使わず、大きな硯にこれも大きな墨をすりおろす。秘書の人たちや家族が動員されることもある。

「何を書く」

依頼者がこれを書いてください、という

「おおそうか」

と書くが、なんでもおまかせしますといわれると少し考えて適当な語句を書いてあげた。

農業関係なら

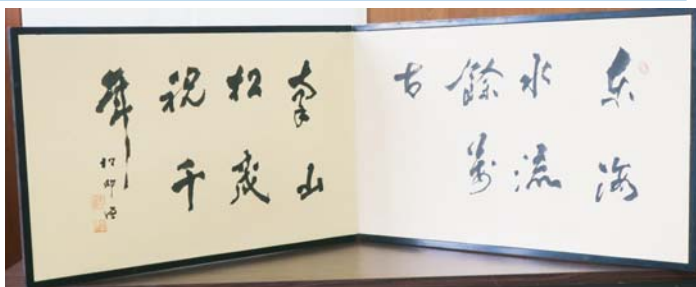
『誰か知らん盤中の餐 粒粒皆辛苦なるを』『誰か知らん細細青青草 中に豊年撃攘の声有らんとは』など、蘭の好きな人に『蘭香四時』、学校や教育方面には『これを仰げばいよいよ高く これを鑽ればいよいよ堅し』

この書は紹興市の外語学校でも見かけた。福光町の教育委員会には論語から『文質彬彬』。『日々是好日』はよく書いた。いつか「六字」をという依頼があり、何だろうと思っていたら

「おおそうか」

といって『南無阿弥陀仏』と書いた。今どちらかの墓石に刻まれているはず。

*



福光宅に帰省したときにもたくさんの紙や色紙やそれを持った皆さんが待っていて、暇をみては筆をとっていた。

頼んだ人によって当意即妙に揮毫をした。外科のお医者さんの玄関に『鬼手佛心』床屋さんに『親切丁寧』。隣りの分家の老未亡人に『貞松千年緑』この人の名前は松枝さんといった。もとクラブ会長の紙居清さんは『スポーツ精神』という字を店に掲げておられ「カタカナを書いてもらったのはおれだけやぞ」と自慢されていた。

同じく会長だった剣士の荒井行晴さんには『一剣天に倚りて寒し』。



水口さんのお店には『福光磁盃 青玉堂』、よく泊った川合田温泉には『賓客如雲』とある。

お宮の幟を頼まれたときは大変で、庭のコンクリートのうえに布を置いて竹ぼうきのような大きな筆で足袋はだして書いた。使われた落款の型紙は記念館にある。

中学のころ墨すり役だった妹の話。いつものように座敷に沢山の人が集まっているとき、近くのかば焼き屋のご主人が店にかけの額を所望され、みんなで興味しんしんで見守るなかで筆をとって

『毛刈一方』

と書いたが誰も意味がわからない。それでは教えてやろう

「もうかるいっぽう」と読むのだ。

みな大笑い、かば焼き屋のご主人も大喜び。



次回の予定 9月11日(火) 第2473回
卓話

担当 井沢正生会員